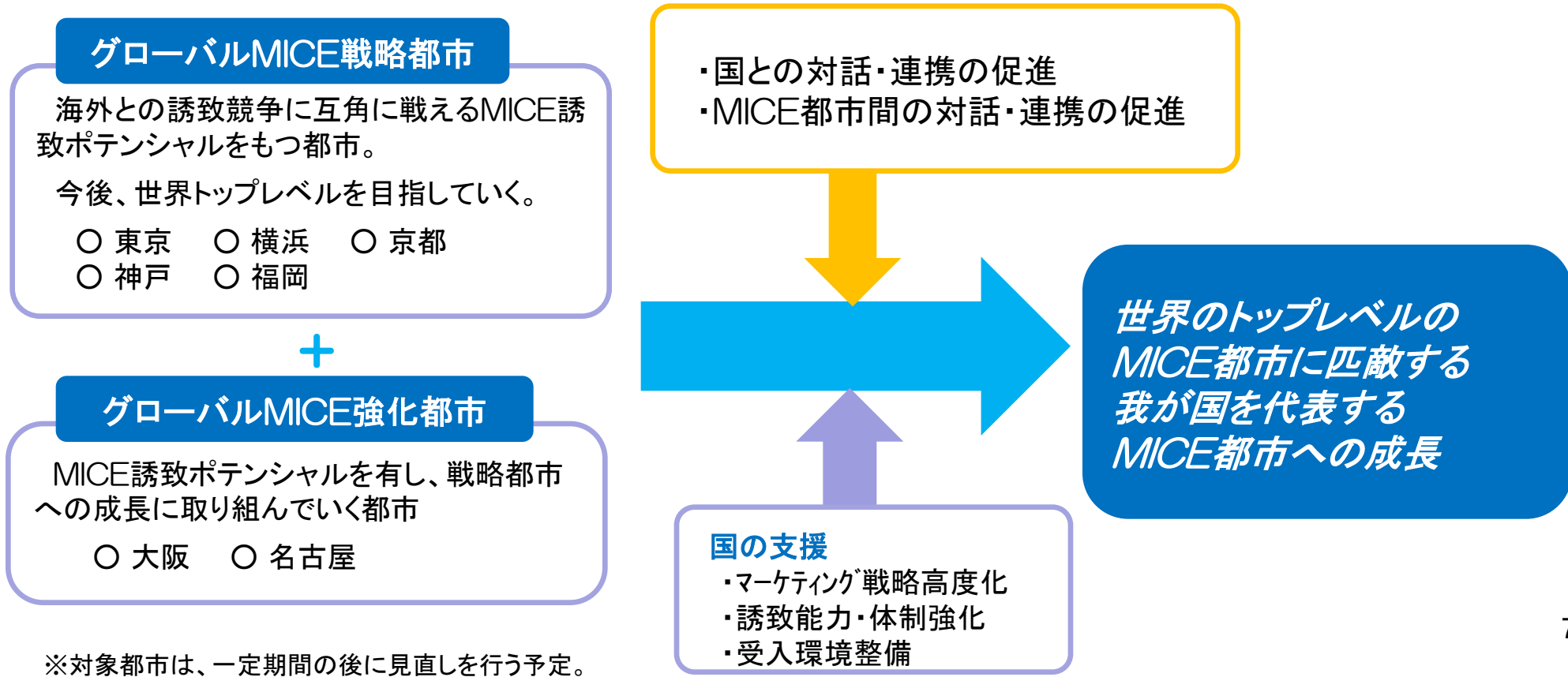


グローバルレベルのMICE都市の育成

- 我が国のMICE誘致競争を牽引する都市を育成するため、MICE誘致ポテンシャルを有する都市に対して集中的な支援を行い、自律的な取り組みを促していく。
- 2013年6月28日に、グローバルMICE戦略都市(5自治体)及びグローバルMICE強化都市(2自治体)を選定。
- グローバルMICE戦略都市・強化都市は、MICEマーケティング戦略の高度化、MICE誘致能力・体制の強化、受入環境の整備等に取り組む。



※対象都市は、一定期間の後に見直しを行う予定。

グローバルMICE戦略都市事業実施概要

■平成25年度、グローバルMICE戦略都市として選定された都市に対し、「アドバイザー派遣」を中心に以下の支援事業をJNTOとともに実施。

・アドバイザー派遣

海外MICE専門家を都市に2回派遣の上、そこで把握した都市の現状を元にコンサルティングを行い、都市の競争力強化を図る。

・プロモーション支援

海外MICE専門誌であるHeadQuarters、AMIに各都市の魅力を伝える記事を掲載。

・ステークホルダーの連携促進

ステークホルダー連携促進のためのセミナー等を開催する都市に対し、講師派遣等実施。

・市場/競合都市の調査分析

海外競合都市と日本の都市のMICE競争力を既存データ等から数値化し、客観的なデータからの現状把握を行うとともに、強化を図るべき効果的なポイントを探る。

・地域経済波及効果測定モデルの開発

全国レベルでの測定のみ可能な現時点版モデルを改良し、都道府県・市毎の測定も可能なモデルとする。

■戦略都市間の連携を深めるため、観光庁・JNTO・戦略都市が一堂に会する連絡会も平成25年12月実施。

・京都新聞8月16日記事



・左HeadQuarters、右AMI



・於 東京国際フォーラム

MICE誘致に向けた都市の取組の強化

- 近年、都市やコンベンションビューローによる新たな取り組みや、産学官民が一体となってMICE誘致に取り組む事例が見られる。
- ここでは大阪と福岡の取組事例を紹介。

大阪MICEビジネス・アライアンス

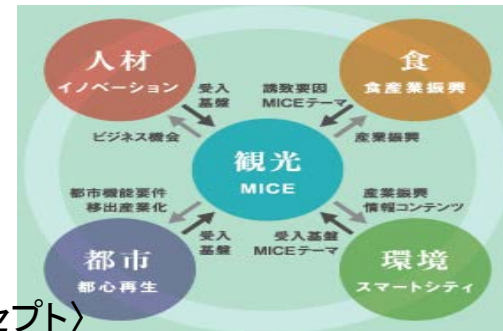
- 大阪観光局（（公財）大阪コンベンション協会）では、従来行政主導型であったMICE推進を、官民一体となったオール大阪としての取組へ移行し、MICE産業の更なる活性化に向けて「大阪MICEビジネス・アライアンス」を設置。
- 活動の一環として、昨年12月、会議主催者とMICE関連産業との商談等の機会として「大阪MICEディステーション・ショーケース」を開催



〈大阪MICEディステーション・ショーケースの様子〉

福岡地域戦略推進協議会 (Fukuoka.D.C.)

- **福岡地域戦略推進協議会 (Fukuoka D. C.)**
 福岡の新しい将来像を描き、地域の国際競争力を強化するために、地域の成長戦略の策定から推進までを一貫して行うために設立。
 5つの部会（観光・環境・人材・都市再生・食）を設置し、観光部会の重点テーマは「福岡都市圏のMICE戦略MICE推進のワンストップ機能構築」。
- **MICEビューローの設立**
 これまで（公財）福岡観光コンベンションビューローでは、観光とMICEを一緒にやってきたが、コンベンション施設、ホテル等との一体的な誘致・マネジメント体制の確立を目指し、平成26年4月、同ビューロー内にMICEビューロー（仮称）を設置し、MICEに特化して産学官民の共働により運営していく予定。



〈Fukuoka.D.C.のコンセプト〉

MICEアンバサダープログラム(概要) ①

- 海外の主要国・都市では、国際会議等の開催適地としてのプレゼンス向上のため、学識、名声があり、専門分野において影響力のある人材をアンバサダーに任命し、国・都市の広報活動や国際会議の誘致活動を行っている。
- 我が国でも、名だたるビジネスパーソンや有力な学会・研究機関等が数多く存在しており、特に国内外に影響力のある者を国際会議誘致の誘致促進委員会委員(通称MICEアンバサダー)に選定し、「日本の顔」として、国内外にMICE開催国としての日本の広報活動や国際会議の誘致活動を行う。

◆MICEアンバサダー

産業界・学術分野から、以下の基準より選出。

MICE誘致・開催の意義を理解し、国内外において広範かつ強力な影響力を有する方

主要分野の学会・協会に対して強い影響力を有し、当該分野の国際的なネットワークを有する方

今後、学会・協会の中心となり、国際会議を誘致する可能性がある方

◆MICEアンバサダーの活動

アンバサダーは、そのネットワークや影響力を活かして以下の役割を担うことを期待。

日本におけるMICE開催の意義に関する普及啓発

MICE開催地としての日本のPR

日本への国際会議等の誘致・開催の促進

◆人数

- 平成25年度は8名
- 平成26年度も同程度の人数規模で新規にご就任いただく予定

◆任期

- 2年(任期更新の可能性あり)

◆観光庁・日本政府観光局(JNTO)による支援

- プレゼンテーション資料作成支援
- 個別の国際会議誘致支援
- MICEアンバサダーとしての活動にかかる旅費支給
- MICEアンバサダー同士の意見交換の場の提供 (誘致促進委員会開催) 等

MICEアンバサダープログラム(概要) ②

- 2013年12月9日(月)にMICEアンバサダーの委嘱式を行うとともに第1回誘致促進委員会を開催
- 8名のMICEアンバサダーが就任

2013年12月9日(月)

於： 帝国ホテル

◆MICEアンバサダー委嘱式

◆第1回MICE誘致促進委員会



【MICEアンバサダー】

50音順、敬称略

- | | |
|-------|---|
| 池田 康夫 | 慶應義塾大学 名誉教授
(2011年、国際血栓止血学会を成功裏に開催) |
| 大西 隆 | 内閣府日本学術会議 会長 |
| 長村 義之 | 国際医療福祉大学大学院 教授
(2016年の国際細胞学会の誘致に成功) |
| 木村 正 | 公益社団法人日本産科婦人科学会 理事 |
| 小宮山 宏 | 三菱総合研究所 理事長 / 東京大学 総長顧問
(前東京大学 総長) |
| 水澤 英洋 | 東京医科歯科大学大学院 教授
(2017年の世界神経学会議の誘致に成功) |
| 宮澤 陽夫 | 東北大学大学院農学研究科・農学部 教授
(2015年の第12回アジア栄養学会議、2021年の第22回国際栄養学会議の誘致に成功) |
| 山谷 泰賀 | 独立行政法人放射線医学総合研究所
分子イメージング研究センター チームリーダー |

